

2026 年度
能力強化研修

国際労働移動と労働者保護

2026 年 10 月 15 日（木）～10 月 21 日（水）

募集要項



独立行政法人 国際協力機構
人事部開発協力人材室

※本研修は対面で実施予定です

はじめに

「国際労働移動」・・・ちょっと聞きなれない言葉かもしれません。みなさんは何を思い浮かべるでしょうか。

国境を越えたダイナミックな人の動き、活躍の場を求めた新天地への渡航、グローバル企業の本社への就職などなど、様々な印象を持つことと思います。

野球選手のメジャーリーグ挑戦もいわば「国際労働移動」ですし、最近ではデジタルノマドという言葉も聞かれるようになりました。

一方で、同じ言葉を開発の概念で捉えてみると、見える姿は異なってきます。

国際労働機関（ILO）によると、世界には1億6千万人あまりの外国人労働者が存在し、その数は特にコロナ禍以降、高い水準で推移しています。国によっては、こうした労働者からもたらされる母国への送金が経済を支えているところもあり、重要な外貨獲得手段となっています。

しかし、外国人労働者は、待遇面や生活面など、地元の労働者に比べ、多くのケースで非常に脆弱な立場に置かれがちです。

一般に、国際労働移動を行う外国人労働者は、母国の地元から都市部へ出て、その後、就労先の国へ渡航し、そして、母国へ帰国するという一連の移動を経験することになります。この移動過程の中で、外国人労働者に対する「Recruitment」「Upskilling」「Placement」「Processing」「Protection」「Work」「Integration」「Re-Integration」という機能があり、それぞれに多様なステークホルダーが関与しています。

もし、このプロセスの中で、一部でも悪質なステークホルダーが介在していた場合、外国人労働者は意に反した移動を強いられたり、借金などによって自由を制限されたりすることになりかねません。

このように、国際労働移動のプロセスには彼らを弱い立場に追いやってしまう脆弱性要因が多数存在しています。

この一連の過程における脆弱性をできるだけ軽減し、外国人労働者・母国・就労先国にとって望ましいプロセスの実現を目指すのが、国際労働移動における開発です。

能力強化研修「国際労働移動と労働者保護」は、この分野において活躍を目指す方のための基礎的知識の習得を目指しています。

国際労働移動にまつわるトレンドや政策・制度のほか、労働者保護の仕組みや課題、労働者の送出や受入、具体的な国際協力事例など、開発現場で求められる知見・ノウハウを講義や演習を通じて学ぶ内容となります。

国際労働移動をめぐる課題に携わる、もしくは将来携わることを考えている実務者、研究者、コンサルタント、シンクタンク、さらには、外国人労働者に関わる企業や共生事業の関係者などを、主な対象者として想定しています。

皆様の積極的な参加をお待ちしております。

1. 研修コース名、研修期間、募集人数

- (1) 研修コース名：「国際労働移動と労働者保護」コース
- (2) 研修期間：下記の5日間
2026年10月15日(木)、10月16日(金)、10月19日(月)、10月20日(火)、
10月21日(水)
- (3) 募集人数：20名程度
(一般公募による参加者とは別に、JICA 内部からも正規受講者を募集する予定)

2. 応募要件

下記の全ての要件を満たす方とします。

- (1) 全日程に参加可能であること
- (2) 将来、専門家や業務委託の受託者、草の根技術協力事業や民間連携の中小企業・SDGs ビジネス支援事業の実施企業・団体などとして、その形式を問わず、JICA 事業に携わる意思があること
- (3) 大卒又は同等以上の専門性を有し、以下いずれかの専門能力や経験があること
 - ① 移民学教育・研究
 - ② 経済学・労働経済学教育・研究
 - ③ 法学教育・研究
 - ④ 国際労働移動分野の調査・研究（大学院における研究も含む）
 - ⑤ 人材開発・職業訓練に関する調査・研究（大学院における研究も含む）
 - ⑥ 開発協力の調査・企画・実施・評価
 - ⑦ 外国人労働者に関するサービスの実施・運営（職業紹介事業、監理事業、登録支援事業、人材派遣業、外国人労働者の雇用）
 - ⑧ 日本語教育・研究
- (4) 語学力：以下のいずれかの語学力を有すること
 - ① 英検準一級、TOEIC740点、TOEFL CBT213点／iBT80点、国連英検B級以上
 - ② その他特殊言語については、業務上、コミュニケーションをとることが可能なレベル語学力は必須要件とはしませんが、応募者多数の場合には、研修参加者が開発途上国での業務に従事することを念頭に置いていることを踏まえ、選考の判断材料とすることがあります。そのため、保持している語学力にかかる公的資格を、取得年月日が新しい順に履歴書に記載してください。

3. 研修会場

JICA 市ヶ谷ビルでの対面形式による研修を予定しています。一部日程を JICA 横浜センターで実施予定です。

JICA 市ヶ谷ビル
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5
JICA 横浜センター
〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1

4. 研修概要

- (1) 目的
 - 国際労働移動の現状を把握し、当該分野の体系的知識を獲得する。
 - 演習を通じ、開発の現場で求められる知見・ノウハウを培う。
- (2) 日程（案）

月日	内容
10月15日 (木)	●プログラムオリエンテーション
	●【講義】日本の外国人材の受け入れ制度
	●【講義】日本における国際労働移動の推移と政策
	●【講義】世界と日本の国際労働移動の現状
10月16日 (金)	●【講義】国際労働移動のプロセスと開発課題
	●【講義】国際労働移動をめぐるビジネスと人権
	●【講義】国際労働移動をめぐるジェンダー
	●【見学】海外移住資料館
10月19日 (月)	●【講義】開発協力事業の概要
	●【講義】プロジェクトの実施①
	●【講義】プロジェクトの実施②
	●【講義】NGOによる相談・救済の取り組み
	●【講義】多文化共生
10月20日 (火)	●【講義】送出国における現状、事前教育・再統合の取り組み
	●【講義】在京大使館による労働者保護の課題と取り組み
	●【講義】企業における課題、人材育成の取り組み
	●【グループ演習】課題提示
10月21日 (水)	●【グループ演習】グループワーク
	●【グループ演習】発表会
	●【グループ演習】講評
	閉講式

※ 研修期間の講義時間は9:30～17:30を予定しています。

※ 本日程（案）は、暫定版のため変更の可能性があります。

※ 受講者には事前に、①受講案内、②頻出用語集につき、メール等で送付・案内差し上げますので、ご確認をお願い致します。

5. 応募方法

以下の（２）に記載されている提出書類を揃え、締切日までに JICA が運営している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」（以下、「PARTNER」という。）から応募してください。応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」で指定した本人連絡用 E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号（受付番号）を通知します。応募後、通知が届かない場合は、「人材登録に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

（１）「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に人材登録がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での人材登録を行ってください。

「PARTNER」(人材登録)の URL <https://partner.jica.go.jp/Account/HRAboutRegist>

【PARTNER 登録の注意事項】

応募時には PARTNER マイページの「登録内容の確認／更新」にて、所属先などの情報を最新に更新してください。

また、更新の際には、「プロフィール公開」欄は「希望する」を選択し、「プロフィール公開対象」には必ず「JICA」を選択してください。

(2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ (<http://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>) からダウンロードしてください。①の履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

① 履歴書（研修用履歴書）

応募に必要な「研修用履歴書」を「PARTNER」上で作成して提出してください（履歴書への写真添付は不要です）。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。**ファイル名は「氏名_1 履歴書」として、PDF 化して提出してください。**

② 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目（7 項目目）に必ず記載をお願いいたします。**ファイル名は「氏名_2 自己申告書」として、PDF 化して提出してください。**

③ 推薦書

所属先のある方は必ず所属先の研修参加の了承を得てください。なお、推薦書は、書式不問です。推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してください。自営の方や所属先のない方は不要です。所属先にて応募者ご本人が代表を勤めている方も必要ありません。**ファイル名は「氏名_3 推薦書」として、PDF 化して提出してください。**

(3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください（予め応募書類をご準備ください）。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックして「PARTNER」にログインします。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

- ② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「WEB から応募する」をクリックしてください。
- ③ 上記（2）の応募書類を添付して PDF 化して提出してください。

【国際協力人材登録に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局

以下URL、PARTNERホームページの「お問い合わせ」からお願いします。

<https://partner.jica.go.jp/Inquiry/Input>

6. 応募締め切り

締切日： **2026 年 8 月 23 日（日）**

7. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、**2026 年 9 月 15 日（火）**を目途に、下記の「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号（受付番号）を発表します。「PARTNER」にログ

インし、マイページの「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。書面による通知及び JICA ホームページ上では発表しません。

ご自身の応募案件番号（受付番号）は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信 BOX」で「【PARTNER】公募案件への応募送信完了のお知らせ」を参照ください。

なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承ください。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

8. 修了証の発給

全日程を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡しします。

9. 受講料

無料（但し、見学先への移動に伴う交通費は自己負担となります）

10. 留意事項

- （１）研修期間中の盗難、紛失、事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
- （２）研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
- （３）円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- （４）研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
- （５）受講のために必要な経費は自己負担となります（宿泊先の紹介および幹旋は行っていないところ、あらかじめご了承ください）。
- （６）研修の際にはノートパソコンをご持参ください。
- （７）所属先推薦書を含む応募書類に虚偽の記載が判明した場合、選考合格を取り消すとともに、修了証の発行は致しません。

以上

様式 1 推薦書

様式 2 自己申告書

—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

【個人情報の利用目的】

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる、各種情報（セミナー・イベントやホームページの案内等）や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

【個人情報の取り扱いについて】

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

【募集・選考に関する問い合わせ先】

独立行政法人 国際協力機構 人事部開発協力人材室（研修管理室）

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル

E-mail: hrgtc@jica.go.jp

【応募時のシステムに関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局

こちらのお問い合わせフォームより <https://partner.jica.go.jp/Inquiry/Input>